

洪水情報が緊急速報メールで発信されます！

平成29年5月から、国が管理する石狩川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されるようになりました。



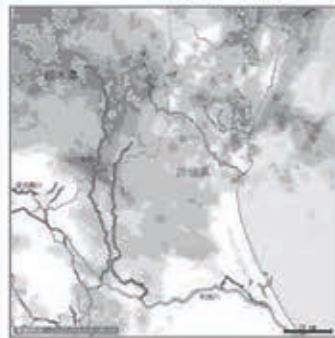
緊急速報メールが来たらまずチェック！

国土交通省 川の防災情報

川の水位が分かる！
川に設置した水位計で、近くの川の水位がどのような状況になっているのかをリアルタイムで確認することができます。

川の水位が分かる！
CCTVカメラの映像で、現在の川の様子や、川に近づかなくても状況を知らることができます。

川の水位が分かる！
川の水位が分かる！
CCTVカメラの映像で、現在の川の様子や、川に近づかなくても状況を知らることができます。



アクセス！

パソコンから
<http://www.river.go.jp/>
スマートフォンから
<http://www.river.go.jp/s/>



スマホ版「川の防災情報」では、位置情報取得することで、今いる場所の雨の様子や近くの川の状況をすぐ知ることができます。



先月号では「避難情報」について勉強したね。災害対策は日頃からの備えが重要だ！今月号は「災害時要配慮者」について学び、助け合いの輪を広げよう。

「災害時要配慮者」って？

「災害時要配慮者」というとなんだか難しい感じがするけど、そんなことはない。災害時に困っていて助けを必要としている人たちのことなんだ。こうした人たちにとって頼りになるのは、地域で暮らす人々の助け合いだ！平常時には災害への備えや身近な人たちとのコミュニケーションに努め、そして災害時には助け合うことが大切だね。

防災一口メモ

避難行動要支援者支援制度

町でも災害時要配慮者の安全確保に努めており、この制度もそのひとつ。一定の要件を満たす災害時要配慮者の方に同意を得て個別計画を作成し、日々の見守りや災害時の避難行動支援や安否確認、救助に役立てる制度です。詳しくは役場総務企画課生活安全係までお問い合わせください。

「災害時要配慮者」とは

身体に何らかのハンディキャップがあり、災害時に手助けを必要とする人

⇒ 〈災害時におけるハンディキャップとは？〉

- ①危険を察知しにくい
- ②危険であることを理解・判断しにくい
- ③危険に対して適切な行動がとれない

※具体的には

- ・高齢者・傷病者・車いすを使う方
- ・耳や目が不自由な方・妊婦、子ども連れの方
- ・外国人の方 など

災害が起きたときにはまず自分の安全を確保すること。それができたら周りにも目を配ってみよう。そして困っている人がいたときには積極的に助けて欲しい。そのためには普段から地域や身近な人同士で協力体制を話し合っておくことが重要だ！これからも常に防災意識を高めてくれ。防災レンジャーとの約束だ！

あらかじめ連絡方法や避難場所、避難手順などを確認しておく



「災害時の対応について話し合うリアル防災レッド」

■問い合わせ 役場総務企画課生活安全係 ☎85-4801

地域生活支援拠点とは
障がいのある方々の高齢化・重度化や「親なき後」の将来を見すえ、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供することで、希望するすべての障がい者が安心して暮らせる地域づくりを目的とし

障がい者の方々が、安心して生活することのできる地域社会を実現するために、各関係機関が具体的な取り組みについて検討することは大変重要なことです。

比布町、当麻町、愛別町、上川町の4町では、北4町協議会（障がい者などへの支援体制を整備するために、関係する機関や人が集まって協議する場をつくり、地域で支えていくための情報や課題を共有し、地域の状況にあった仕組みや手立てを話し合う場）や地域の障がい福祉に関わる事業者と話し合いを進め、平成30年度より「地域生活支援拠点」がスタートしました。

きたよん通信

【告知】きたよんサロン開催
日時：平成30年6月18日15時
場所：福祉会館第4研修室
〈問い合わせ〉
上川中部基幹相談支援センター（当麻町役場内）
当麻町3条東2丁目11番1号
☎0166-84-7111

【告知】きたよんサロン開催
日時：平成30年6月18日15時
場所：福祉会館第4研修室
〈問い合わせ〉
上川中部基幹相談支援センター（当麻町役場内）
当麻町3条東2丁目11番1号
☎0166-84-7111

